

保護者の方へ・・・必ずお読みください



二種混合（DT）予防接種説明書

（D：ジフテリア T：破傷風）

※ ジフテリアとは

ジフテリア菌の飛沫感染で起こります。感染は主にのどですが、鼻にも感染します。症状は高熱、のどの痛み、犬吠様のせき、嘔吐などです。発病2～3週間後には菌の出す毒素によって心筋障害や神経麻痺を起こすことがあるため注意が必要です。

※ 破傷風とは

土の中にいる破傷風菌が、傷口からヒトの体内に入ることによって感染します。菌が体の中で増えると、菌の出す毒素のために、筋肉の強直性けいれんを起こします。最初は口が開かなくなるなどの症状で気付かれ、やがて全身の強直性けいれんを起こすようになり、治療が遅れると死に至ることもある病気です。

※ 二種混合(DT)ワクチンについて

二種混合ワクチンとは、ジフテリアトキソイドと破傷風トキソイドを混合したワクチンのことです。

小学6年生の時期は、二種混合予防接種の標準的な接種年齢にあたりますが、三種混合ワクチン又は、四種混合ワクチンで第1期接種を確実にいき、基礎免疫を作っておくことが大切です。

	対象年齢	標準的接種年齢	接種回数
二種混合 (2期)	11歳以上13歳未満	小学6年生	1回

※ 接種後の副反応について

まれに報告される重い副反応としては、ショック、アナフィラキシーショックがあります。その他、一定の頻度で見られるとして報告されている副反応は、発赤、腫脹（はれ）、痛み、硬結（しこり）、発熱、悪寒、頭痛、倦怠感、下痢、めまい、関節痛です。硬結は1～2週間残存することがあります。重い副反応はなくても、機嫌が悪くなったり、はれが目立つときなどは医師に相談してください。

裏面に続きます ▶▶▶

予防接種を受けるときの注意事項

予診票

「予診票」は接種する医師にとって、予防接種の可否を決める大切な情報です。
接種を受ける方の保護者が責任を持って記入し、正しい情報を医師に伝えてください。

予防接種を受けることができない人

- ① 接種当日、明らかに発熱（通常は 37.5℃以上をいいます）をしている人
- ② 重い急性疾患にかかっている人
- ③ 予防接種の接種液に含まれる成分で、アナフィラキシーを起こしたことがある人
- ④ その他、医師が不適当と判断した人

接種前に医師（かかりつけ等）とよく相談しなくてはならない人

- ① 心臓病、腎臓病、肝臓病、血液の病気や発育障害などで治療を受けている人
- ② 過去に予防接種で、接種後 2 日以内に発熱、発疹、じんましんなどアレルギーと思われる異常がみられた人
- ③ 過去にけいれん（ひきつけ）を起こしたことがある人
- ④ 過去に免疫状態の異常を指摘されたことのある人、及び近親者に先天性免疫不全症の者がいる人
- ⑤ 卵の成分、抗菌薬、安定剤などにアレルギーがあるとされたことがある人

接種を受けたあとの一般的注意事項

- ① 予防接種を受けた後 30 分間程度は、医療機関(施設)でお子さんの様子を観察し、医師とすぐに連絡が
取れるようにしておきましょう。急な副反応が、この間に起こることがまれにあります。
- ② 接種後、生ワクチンでは 4 週間、不活化ワクチンでは 1 週間は副反応の出現に注意しましょう。
- ③ 接種部位は清潔に保ちましょう。入浴は差し支えありませんが、接種部位をこすることはやめましょう。
- ④ 当日は、激しい運動は避けましょう。
- ⑤ 接種後、接種部位の異常な反応や体調の変化があった場合は、速やかに医師の診察を受けましょう。

予防接種による健康被害救済制度

定期の予防接種による重篤な健康被害（障がい等）が発生した場合は、予防接種との因果関係が認定された場合に、健康被害救済制度が適用され、国の定める医療費や医療手当等の給付を受けることができます。給付申請の必要がある場合には、下記までご相談ください。

お問い合わせ先

山口市保健センター	TEL 083-921-2666
小郡保健福祉センター	TEL 083-973-8147
秋穂保健センター	TEL 083-984-8031
阿知須総合支所内 健康づくり・母子健康サポート阿知須担当	TEL 0836-65-4211
徳地保健センター	TEL 0835-52-1114
阿東保健センター	TEL 083-956-0993